

製品名: AVP 受容体 V2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07378**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 38kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | AVPR2 |
| 別名 | AVPR2; ADHR; DIR; DIR3; V2R; Vasopressin V2 receptor; V2R; AVPR V2; Antidiuretic hormone receptor; Renal-type arginine vasopressin receptor |
| 遺伝子 ID | 554.0 |
| SwissProt ID | P30518 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト AVPR2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 72-121 |

背景

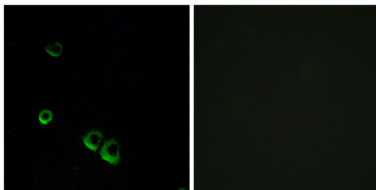
この遺伝子は、7つの膜貫通ドメインを持つ G タンパク質共役受容体 (GPCR) スーパーファミリーに属し、G と共役してアデニル酸

シクラーゼを刺激する、V2 受容体としても知られるバソプレシン受容体 2 型をコードしています。V2 受容体は G タンパク質と共役してアデニル酸シクラーゼを刺激します。V2 受容体、V1a および V1b バソプレシン受容体、オキシトシン受容体、および非哺乳類のイソトシンおよびメソトシン受容体を含むサブファミリーはよく保存されていますが、いくつかのメンバーは他の G タンパク質を介してシグナル伝達します。すべてが同様の環状ノナペプチドホルモンに結合します。V2 受容体は腎臓の尿細管、主に遠位曲尿細管と集合管で発現しており、その主な特性は、尿を濃縮し、体内の水分恒常性を維持する機構を刺激することにより、下垂体ホルモンのアルギニンバソプレシン (AVP) に反応することです。この遺伝子の機能が失われると、腎性尿崩症 (Nephrogenic Diabetes Insipidus) [MIM:304800]の原因となります。腎性尿崩症 1 型とも呼ばれます。XND1 は、腎集合管がアルギニンバソプレシンに反応して水分を吸収できないことで発症します。過剰な水分摂取 (多飲)、過剰な尿排泄 (多尿)、持続的な低張尿、および低カリウム血症を特徴とします。AVPR2 の欠陥は、腎性不適切抗利尿症候群 (Nephrogenic Syndrome of Inopaduresis: NSIAD) [MIM:300539]の原因となります。この疾患は、自由水負荷の排泄不全を特徴とし、尿の濃縮が不十分となり、結果として低ナトリウム血症、低浸透圧、およびナトリウム利尿症が生じる。機能: アルギニンバソプレシン受容体。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼを活性化する G タンパク質によって媒介される。オンライン情報: AVPR2 ページ,類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。組織特異性: 腎臓。 ,

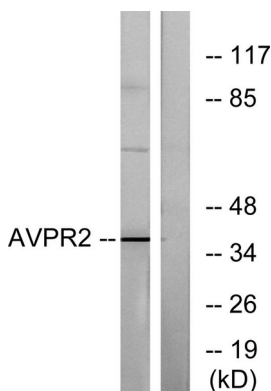
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

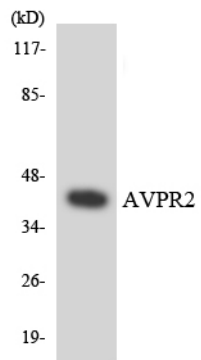
画像データ



AVPR2 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



AVPR2 抗体を用いた RAW264.7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



AVPR2 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解物のウエスタン ブロット分析。